

大台ヶ原 山開き
&
大台ヶ原物産店 OPEN

新協力隊・田村君を中心に2～3人体制で運営します



天候もよく、初日から多くの方で賑わいました

K こんにゃくの新展開です

快晴にも恵まれた4月21日（土）、待ちに待った大台ヶ原の山開きが行われました。厳かな雰囲気の中で神事が執り行われ、第一便のバスで来られたお客様も途中下車して今年一年の安全登山を祈願致しました。

また、この日から大台ヶ原駐車場にある「大台ヶ原物産店」もオープンしました。今年から村営になったとの事で、現在は残念ながら土産物販売だけの営業となりましたが、道の駅からおにぎりやチルド麺・パン類なども納品され、食堂だった部分をイートインスペースとして利用されるお客様もいらっしゃいました。

加工センターとしては、最初通常のこんにゃくを納品していましたが、よりお土産物感を出すために、「大台ヶ原こんにゃく」のネーミングで大台ヶ原の写真为背景にしたパッケージを作成。通常のハーフサイズにて展開しております。今のところ多くの方に手に取って頂き、順調な滑り出しを見せております。

今後は季節に合わせた写真を使ったり、またイベント時には串こんにゃくと並行販売したり1人でも多くの方に上北山のこんにゃくを知ってもらえるよう、工夫を重ねていきたいと思えます。

大蛇嵩や正木峠など4種類で販売中です



大台ヶ原マラソンin何日か



K これぞ雨の大台ヶ原

山開きとは打って変わって5月13日（日）の大台ヶ原マラソンは朝から雨模様でした。

開会式～スタートまでは小雨がばらつく位で暑いよりはマシという感じでしたが、スタートから数十分経ったくらいから雨量は増え、風は強まり、霧で迎りが真っ白になるという悪コンディションになってしまいました。それでもランナーの皆さんはゴール後、急遽物産店2階に準備した更衣室で着替え、楽しそうに振る舞いの串こんにゃく・とちもちぜんざいを召し上がり、なかには「やっと雨の大台ヶ原を走れました」と話す人もいらっしゃいました。

活動報告

3月下旬～5月中旬の、協力隊としての活動をご報告いたします

協力隊初任者研修会



学んだことを活かして

4月16日(月)～18日(水)の3日間にわたって滋賀県・全国市町村国際文化研修所にて1～2年目の地域おこし協力隊を対象にした「初任者研修会」が行われ参加させて頂きました。

全国各地から約130名の協力隊が集まり、セミナーやワークショップなどで協力隊の役割や考え方・施策から活動のヒントまでみっちり学んできました。

期間中、富山・奈良・広島・福岡・宮崎の協力隊の方と班を作り、それぞれの業務内容や取り組みなど多くの交流の中で刺激ある話をする事が出来、非常に有意義な時間を過ごせたと思います。

学んだ事を村での活動に活かし、今後の糧に出来れば良いなと思っております。

餅撒いて、幸せ拾う

ゴールデンウィークの初日だった4月29日(土)、小椋の北山宮で春大祭が開催されました。前日に地区の皆さんによって餅つきがあり、当日は串こんにゃくの販売をお手伝いしました。

綺麗な衣装を着せてもらった赤ちゃんがいたり、今春から高校生として頑張っている子が戻って来てたりと賑やかなお祭りで、フィナーレの餅撒きには多くの方が我先にと手を伸ばしていました。

お陰様で串こんにゃくも予定数を完売し、お昼時のお腹を満たしたのではないかと思います。

お寺やお宮さんの行事は、まだ小椋地区の分しか行った事がないのですが、すでに今年だけで3回餅撒きがありました。今年は出来るだけ他地区にも参加出来れば良いなと思っておりますが、同じく餅撒きが多いのか気になります。



「北山宮春大祭」出店



いどばたカフェin白川



いっぱいお話ししよう

各戸配布でもご案内致しましたが、今月から地域おこし協力隊・集落支援員の合同企画として「いどばたカフェ」がスタートし、第1回目である5月15日(火)、白川公民館に10数名の方が来て下さいました。

昔の話や伝えられている味、山の良さなど、予定していた3時間があっという間に過ぎてしまうほど、楽しくそしてタメになる時間を過ごす事が出来ましたが来られた方はどのように感じられたでしょうか。

今後月1回のペースで、西原・小椋・河合の順に開催する予定です。詳しい日程が決まり次第、各戸配布等でご案内致しますので、皆様のお越しをお待ちしております。



最後に告知を

私も参加している「やまんなかマルシェがみきた」がいよいよ5月26日(土)開催されます。

老若男女問わず楽しんで頂ける内容を目指し準備しておりますので、是非親戚友人お誘いあわせの上お越し下さい(10:00～15:00です)

編集後記

雨の中開催された「大台ヶ原マラソン」。我が家の次男坊がスターターという大役を仰せつかる事になり、親の心配をよそにワクワクしながら楽しそうにピストルを撃ちました。こういう減多に回ってこない役割をさせてもらえるのを見ると、子供が少ないのも悪い事ばかりではないなあと感じてしまいます。

先日TVを観ていると「田舎に原宿がやって来た」という企画で今回のマルシェにも出店する巨大カラフルわたあめ「TOTTI CANDY FACTORY」が出ていました。大きなわたあめをキラキラした目で食べている子どもの顔を見て、マルシェでもこういう顔をたくさん見たいなあと思います。